

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2019年6月17日

枚方市長 殿



提出者

住 所 大阪府枚方市星丘4-8-1

氏 名 独立行政法人地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター
院長 増山 理

電話番号 072-840-2641

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

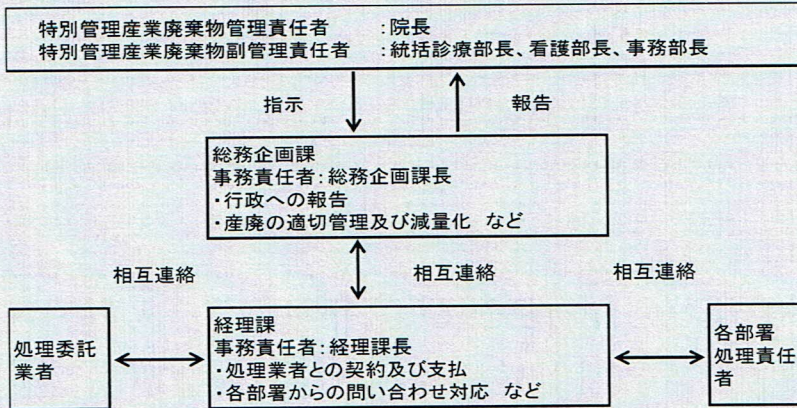
事業場の名称	独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
事業場の所在地	大阪府枚方市星丘4-8-1
計画期間	2019/4/1～2020/3/31

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	88
②事業の規模	許可床数 580床
③従業員数	941名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	排出事業者（星ヶ丘医療センター） ↓ 収集運搬業者：〔感染性〕 榊山本清掃、〔引火性廃油〕 アサヒブリテック(株) ↓ 中間処理業者：〔感染性〕 榊京都環境保全公社（焼却処理）、〔引火性廃油〕 アサヒブリテック(株) ↓ 最終処分業者：〔感染性〕 榊京都環境保全公社（管理型埋立）、〔引火性廃油〕 光和精鉱(株)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 感染性廃棄物の適正処理を行うための責任体制は以下のとおり



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (30 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排 出 量	54.45 t	0.45 t
(これまでに実施した取組) 感染物と非感染物の分別			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排 出 量	49 t	0.3 t
(今後実施する予定の取組) ・感染物と非感染物の更なる分別徹底			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ポリ容器と段ボール容器に分別
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・感染性容器に混在しているであろう非感染性廃棄物の分別徹底

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 感染物の為、無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 感染物の為、現状計画は無し。再生利用の情報収集を行います。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・ 処理設備は保持していません。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・ 全量委託による処理です			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・全量委託してます。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・全量委託の予定		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	54.45 t	0.45 t
	優良認定処理業者への処理委託量	54.45 t	0.45 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・年1回以上の実地確認の実行。 ・電子マニフェストの運用(管理会社によるEDI版)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	49 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	49 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・ 実地確認の実行 ・ 管理会社による廃棄物分別の指導			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度 (30 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	51.689 t	
(今後実施する予定の取組) ・ 電子マニフェストは使用済みであり、今後も引き続き電子マニフェストによる処理委託を徹底していく。			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者については、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。